

例会報告：2014年7月8日（晴れ）第1850回 通常例会



◆ビジター

鈴木 吉兵衛様（小田原RC）

◆会員誕生日

河野 秀雄さん（7月5日）
一寸木 信雄さん（7月11日）



◆ニコニコ箱

久保田 知子委員長

	ニコニコ箱	累計	目標
7月8日分	6,400	107,400	1,300,000

*ビジター

鈴木 吉兵衛様（小田原RC）…齋藤会長頑張って下さい。ホームより出席が多い私です。

*その他

齋藤永・中村維孝・大川久弥・櫻井康二さん…年初例会の反省会の残金を少々ですが。

中野 明さん…先週の年初例会を欠席して申し訳ありません。齋藤執行部のご活躍をご祈念いたします。

小嶋 章司さん…沖縄に台風8号が近づいています。被害がない様に祈っています。

RAC

会員募集中

相応しい会員をご紹介ください！

■ 今後のメーキャップ情報 ■

-2014年7月-

- ▶16日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:萩原美由紀 (NPO法人アールド・ヴィーブル /50周年記念事業について)」
- ▶17日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話:会員による卓話/今までのロータリー経験の中で一番のいい思い出・苦しい思い出」
- ▶18日(金)湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:会員による卓話」
足柄 おんりーゆー 12:30
「勉強会:出席委員会」
- ▶21日(月) 小田原 休会 (祝日休会)
- ▶22日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
「卓話:会員による卓話」
- ▶23日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:澤田ガバナー補佐 (ご挨拶) ・喜多村会員/新入会フリートーク」
- ▶24日(木) 小田原中 報徳会館 12:30
「卓話:(株) 矢場とん代表取締役社長 鈴木 拓将様/名古屋味噌かつの歴史」
- ▶25日(金)湯河原 湯河原観光会館 12:30
「卓話:会員による卓話」
足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:職業奉仕委員会 会員による卓話/贈与税と相続税」
- ▶28日(月) 小田原 報徳会館 12:30
「卓話:クラブフォーラム/奉仕プロジェクトセミナーの報告と小田原RC独自の奉仕活動の意見交換」
- ▶29日(火) 箱根 休会 (特別休会:第5週)
- ▶30日(水) 小田原北 報徳会館 12:30
「卓話:鈴木会員/未定」
- ▶31日(木) 小田原中 報徳会館 17:30
「クラブフォーラム/セミナー報告」

-2014年8月-

- ▶1日(金)湯河原 ニューウエルシティ湯河原 12:30
「卓話:会員による卓話」
足柄 おんりーゆー 12:30
「卓話:R財団委員会 会員による卓話/R財団セミナーに出席をして」
- ▶4日(月) 小田原
「卓話:未定」
- ▶5日(火) 箱根 宮ノ下富士屋ホテル 12:30
「卓話:会員による卓話」
- ▶6日(水) 小田原北
「納涼例会」
- ▶7日(木) 小田原中
「卓話:未定」

【小田原城北ロータリー・クラブ】
事務局：〒250-0211 小田原市鬼柳172-9
電話：0465-37-1222 FAX：0465-37-7377
URL：http://www.odawarajhrc.jp
Mail：info@odawarajhrc.jp
例会会場：小田原卸センター内会議室
創立：1976年4月2日 承認：1976年5月8日
例会：毎週火曜日 12:30～13:30
クラブ会報委員会
監修：大川 久弥
編集長：大川 誠
コピーライター：大川 誠
デザイン：小林 和彦
フィールド：杉崎 勝成・須藤 公司

会員数：48名



国際ロータリー第2780地区

小田原城北ロータリー・クラブ

R.I. DISTRICT No.2780
ODAWARA JOHOKU R.C.
2014-2015
WEEKLY BULLETIN



【R.I. 会長】
ゲイリー C.K. ホアン
【R.I. 2780地区ガバナー】
渡辺 治夫
【第9グループガバナー補佐】
澤田 君雄



【会長】齋藤 永
【副会長】太田 忠
【幹事】大川 久弥
【副幹事】櫻井 康二
【会場監督】小嶋 章司

ロータリーに輝きを

LIGHT UP ROTARY

本日の例会：通常例会（第1851回）

会場：小田原卸センター内会議室

日時：2014年7月15日 12:30～13:30

司会：櫻井 康二 副幹事

12:30	開会点鐘：齋藤 永 会長 ロータリーソング斉唱 「手に手つないで」 スピーカーおよびビジターの紹介 慶事祝福 会長挨拶 幹事報告／出席報告／委員会報告 同好会報告／ニコニコ箱
13:00	担当：柳井 涉 卓話:Abby Geddes交換留学生 「内容:日本で1年間暮らした感想は？」
13:30	閉会点鐘：齋藤 永 会長

【今後の例会・卓話スケジュール】

7月22日 通常例会 12:30

担当：直前交際奉仕委員会
卓話：直前中村交際奉仕委員長
「内容:テグ記念式典参加報告」

7月29日 通常例会(クラブ協議会) 12:30

担当：会員増強委員会
クラブフォーラム(会員増強)

8月5日 納涼例会(移動夜間例会)17:10～20:35

担当：親睦活動委員会
会場:箱根ホテル 会費:10,000円・ご家族他8,000円
例会:17:10～17:40
食事:17:50～19:20 (ミニコンサート)
船上花火:19:35～20:35

8月12日 休会

8月19日 通常例会 12:30

担当：会員増強委員会
卓話：新会員 (予定)
「内容:自己紹介」

8月26日 通常例会 12:30

担当：研修委員会
卓話：石崎委員長「内容:ロータリーの奉仕について」
卓話：小嶋委員「内容:会員増強の必要性について」

第1850回通常例会報告：2014年7月8日

会場：小田原卸センター内会議室

日時：2014年7月8日 12:30～13:30

◆会長挨拶



齋藤 永 会長

皆さんこんにちは、先日の年初例会たくさんの出席をいただいて船出出来ましたに感謝申し上げます。また先日7/2日に北ロータリーと7/4日あしがらロータリーの年初例会にお邪魔して来ました事をご報告申し上げます。

さて、今年度の会長という立場で、一年間お話をさせていただく機会がありますので、中国は宋の時代の禅僧・無門慧開

(むもんえかい) が編した『無門関』というお話をテーマに一年間お話をさせていただければと思います。本日のテーマは『趙州狗子』(じょうしゅうくす)です。ある僧が趙州和尚に尋ねました。『犬には仏性がありますか?』趙州は『無』と答えました。釈尊は、この世に生きとして生けるものはすべて仏性を持っている。つまり清らかで、罪などがないような心を持っている、ただその心を自覚したり、用いたり出来ず、悩んだり、苦しんだりするのは、妄想、執着という雲が心の光を覆っているからだ、と悟られました。実際悟るということはこの心を自覚するということです。普段はいろいろなことについて情報を欲や嫉妬でゆがめて理解します。すると思いは本当の心には届かないのです。ところが、精神が統一され、邪念がないとその情報は直接、何ものにも妨げられずに心の奥底に飛び込んでくるので、はっと自分の心の崇高さを自覚したりすることがあり、これを悟りとか見性と呼んでいるのです。(裏面へ続く)

例会報告：2014年7月8日（晴れ）第1850回 通常例会

趙州は質問に『無』と答えたのは、犬もこの世に生きるもの、もし犬に仏性がなければ釈尊の言葉はうそになります。一方犬に仏性があるとするとなら仏教など何も知らない犬にも悟るなどという事がある事になります。この質問をした僧は理屈で趙州をやっつけようとしたのです。趙州はその心がいけないといっているのです。だから無という言葉には意味がないのです。つまり釈尊がいわれた事は、真実で、うたがいを入れないものだという事を知っているからこのような質問が出るのです。本当に釈尊の言葉を信じていれば、このような質問は出ないはずで、これが宗教の本質なのです。禅の修業をしている人は、『信がなければ、悟れない』といっています。まず仏の言葉を疑わないということからはじめなければいけないのです。まず信ずる努力をする、釈尊のお言葉を無条件に受け入れるという努力をしないと、心を磨き、本当の仏心に近づけないのです。

これは人生も同じです。何か人に教えてもらい、人に導いてもらって、信ずる用にしてもらおうなどということは怠け者の期待であり、そのような事ではないのです。まず信ずる努力をする、自分が神、仏の心を持っている、常に自分に言い聞かせる、疑っては戻り、戻っては疑うというように信ずる道は行ったり来たりですが、次第に進んでいるのです。ですから、釈尊のいわれた事を信じきる努力をするのがもっとも大事な修行なんです。

このように、まず自分が仏の心を持っていると思いつけると、次第に自信が出てきます。それは、本来私たちの心が自信を持たせるような心であり、これを信ずる努力をしなかったから自信をもてなかったのです。

RIのテーマ『LIGHT UP ROTARY』を信じる事からはじめませんか、一人ひとりが、輝けると自信を持って一年間の活動をしていきましょう。これから始まる一年間お力をいただきながら共に輝きましょう。よろしく願いいたします。

◆ 幹事報告



大川 久弥 幹事

- 1)7月2日に小田原北ロータリークラブの年初例会、7月4日には足柄ロータリークラブの年初例会に齋藤会長と私、大川が出席してまいりました。
- 2)7月5日に第一相澤ビルに於いて、青少年交換・派遣学生結団式及び来日学生歓送会が開催されました。当クラブからは来日学生のアビー・ゲデスさんとカウンセラーでホストファミリーの柳井さん、派遣候補生の諏訪間亮君とお父様の諏訪間順さん、そしてカウンセラーの志澤さんと私が出席してまいりました。その際にアビーさんのホストクラブである当クラブに感謝状が贈呈されました。
- 3) ボーイスカウトの小田原支部より、毎年育てている朝顔をいただきました。事務局に飾っておきましたので、事務局にお寄りの際にはご覧になって下さい。
- 4) 地区主催の親睦ゴルフコンペが9月8日に湘南カントリークラブで開催されます。案内を掲示板に貼っておきますので、参加されたい方はお申し出下さい。

◆ 委員会報告

中村 維孝 会計

今年度前期会費納入のお願いをお渡しいたしました。出来れば早めの7月中に収めていただければ助かります。

直前会長・露木会長

先月末に大邸のRC35周年に訪問してきました。記念品の交換をして韓国の国宝のミニチュアの鐘をいただきましたので、ご覧になってみてください。

親睦活動委員会・須藤委員長

8/5に納涼例会を箱根ホテルで予定しています。ご案内をお配りしますので、是非ご家族も一緒に多数のご参加をお願いします。ピアノとクラリネットなどのミニコンサートも予定しています。

青少年交換育成・柳井カウンセラー

アビーさんが今月31日に無事留学を終え帰国される予定です。送別会を7/23・6時からスパッツで行いますので、7/15までに欠席の返事をお願いします。7/31の帰国時にお見送りをしたい方がいらっしゃったらお申し出ください。



(左) 韓国の国宝のミニチュアの鐘 (右) 青少年交換委員会からの感謝状

◆ 出席報告

中村 維孝 委員

出席報告	会員数	出席	M.U	出席率
7月8日	48(44)	32	1	75.00%
7月1日	48(45)	43	1	97.78%
6月24日	46(42)	34	4	90.48%

【欠席者】 12名
内山 修一、石崎 孝、志澤 昌彦、木村 頼弘、荻野 善明、谷口 和雄、守屋 善男、木村 啓彦、小川 和夫、上田 博和、石内 正彦、一寸木 信雄

【今回MU】 1名
志澤 昌彦 (7/5 青少年交換)

【前回MU】 増加なし

【前々回MU】 増加なし

◆ 卓話

「玉露について」

舞妓の茶本舗チーフマネージャー 中坊 敏也 様



今日は皆様、玉露を楽しんでいただきながらお話をお聞きください。最近はお茶を急須で淹れるご家庭が減ってきていますので、少しでもお茶に興味を持っていただければ嬉しいです。小田原の近隣では足柄茶がありますが、今回は宇治茶の中から京田辺玉露をお持ちしました。

舞妓の茶本舗は従業員16名の小さな会社で、奈良に近い京田辺市で営業しています。

京田辺の玉露はJETROの支援を受けて4月からヨーロッパやロシアなどに販売する活動をしています。私の会社でもHPで英語・独語・ロシア語・中国語のサイトを設けて、世界中にお茶を送っています。4~6月で44ヶ国へ販売しました。この機会に日本のおいしいお茶と日本の文化をお届けしたいと思っています。

玉露ってご存じですか？静岡や足柄のお茶は日当たりが良い茶畑で作っていて、それは露天園と呼ばれます。玉露は覆いをかけた畑、覆下園で作られます。日光を遮り、お茶の旨み成分を閉じ込めるためです。それを粉にしたものが抹茶ですので、玉露と抹茶は味が似ています。お茶生産量の75%を占める煎茶とは味の成分が違います。葉が柔らかいのでちょっとした工夫で茶葉を食べることもできます。まず玉露の葉を直接召し上がってみてください。食べておいしい葉は当然淹れておいしくなります。

最初にポットの熱いお湯を半分くらい湯冷ましに注いでください。その湯冷ましのお湯を少しずつ湯呑みに入れます。そうやって玉露の適温・40度くらいまで冷ましていきます。お風呂と同じくらいの温度で、触って少し温かく感じる程度です。次に急須に湯呑みのお湯を全部入れます。沸騰させて100度だったお湯がポットに移して90度、湯冷ましに入れて70度、急須に移して60度という風に温度が下がっていきます。では、もう一度急須のお湯を湯呑みに戻してください。触ってみると適温の40度くらいになっているかと思えます。



今日の急須をご覧ください。皆様のお宅にある急須との違いがわかりますか？取っ手がありません。玉露は40度くらいまで冷ますので取っ手の必要がないのです。これを宝瓶（ほうびん）急須といえます。

ここで漸くお茶が登場します。3人分適量の8~9gの玉露の葉を急須に入れます。結構多く見える量です。お湯は急須の大きさでなく茶葉の量に合わせて入れます。山盛りのお茶のひたひたまで注いでください。普通はこちらで蓋をしますが、今日は中を確認しながら待ちましょう。



早く出るように急須を揺らす方がいらっっしゃいますが、それをする和雑味が出ます。絶対に振らないでゆっくりお湯に浸らせてください。待ち時間は大体2分が目安です。茶葉が変化しているのがわかりますか？元々の緑色に戻ってきています。では蓋をして注ぎます。均一になるように3人分少しずつ行ったり来たりで注いでください。大事なのは最後の1滴まで絞ること。最後の1滴にお茶の良いところがギュッと詰まっていますし、二煎目、三煎目をおいしくいただくためにもお湯は絞り切ってください。まず香りを楽しみ、次に舌の上で転がすように何度かに分けていただきます。いかがですか？「このお茶は何か添加しているだろう」と言われることがありますが、これが天然自然の玉露の味わいです。「もっと飲みたい」という方もいらっっしゃいますが、玉露は『玉の露』と書くようにごくごく飲むお茶ではありません。二煎目も同じように淹れます。お湯の冷まし方、お湯の量も先程と一緒にです。このお茶なら五煎、六煎までおいしく味わうことができます。

今日はその前にお茶殻を召し上がっていただきましょう。本来なら捨てられてしまうのですが、騙されたと思って食べてみてください。お好みでお醤油を少し加えると本当



においしく日本酒のあてにもなります。ポン酢にかつお節を添えたり、お醤油にゴマを加えたりといった食べ方もできます。茶殻にはお茶の有効成分が7割残っていますので、ぜひ召し上がってください。ゴミも減らせますし、お茶の良いところを100%摂取することができます。水出し玉露のティーバッグをお土産にお持ちしました。ティーバッグを一晩水に入れておけば簡単に作れます。お茶は熱湯をかけてしまうと渋みや苦みが出てきますので、水で淹れる方法はぜひ試してみてください。最近はお店に外国からのお客様が多くなりました。茶畑の見学にも行ってくださり、本当に興味を持っていただけていると思います。これからも日本だけでなく世界に向けてお茶の良さを発信していきたいです。東京オリンピックが決まり世界中からお客様がいらっしやるチャンスに、ホテルや旅館で良いお茶を出してもらえるところを探しています。小田原は箱根も近くお城もあって観光客の方が多く訪れると思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

